

東京外国語大学+駐日ブラジル大使館連携事業
『曲がった鋤』邦訳出版記念来日

「イタマール・ヴィエイラ・ジュニオール氏講演会」

『曲がった鋤』 ブラジル文学にもたらされた新風

A novidade de *Torto arado* na literatura brasileira

現代のアフロブラジル作家が描き出す

《傷跡》の
物語

言語の喪失、
奴隷制の負の遺産、
血に塗れたナイフ、
すべてを知る精霊……



2020年にジャブチ文学
賞を受賞
ブラジルの20~21年の
ベストセラー
ブラジル文学に新風を起
こしたアフロブラジル文
学作品

翻訳：武田千香+江口佳子



イタマール・ヴィエイラ・
ジュニオール
Itamar Vieira Junior

4月13日 木 12:40~14:10

場所

東京外国語大学 本部管理棟大会議室

東京都府中市朝日町3-11-1 西武多摩川線多磨駅下車徒歩5分

言語

ポルトガル語（日本語への通訳あり）

共催

東京外国語大学
科学研究費助成事業 基盤研究(C)
「ブラジルのマイノリティ文学における複合性：
交差する人種・ジェンダー・クラス」(21K00432)
駐日ブラジル大使館
水声社

一般公開
事前申込不要

1979年、ブラジルのバ
イーア州都サルヴァドル
生まれ。バイーア連邦大学
にてアフリカ民族学で博士
号を取得。国立植民農地
改革院での勤務経験をも
とに小説『曲がった鋤』を
執筆し、2018年にポルト
ガルのレヤ賞を受賞し、18
年に出版。ブラジルでは
19年に刊行され、ジャブチ
賞とオセアノス賞を受賞。
そのほか短編集『日々』
(2012)、『死刑執行人の
祈り』(2017)など。

お問い合わせ先

武田千香

Palestra6030@tufs.ac.jp

BRASIL
駐日ブラジル大使館

IGR
Instituto Guimarães Rosa

150th
1873
2023
東京外国語大学
建学150周年
記念事業